

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 9日		～ 令和 8年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 6日		～ 令和 8年 3月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【自己決定力が身につくための取組み】 日常の活動内容において個の発達の状況を考慮しながら、自己選択できるように設定するようにしている。あらかじめ決めた活動内容をみんなで取組む(全体活動)と自分で選択する個別活動を組み合わせたプログラムを提供している。	○日常的に提供しているおやつは、決められた金額分を計算しながら購入するといった方式を取り入れている。(個別対応で支援をしながらの活動) ○集団活動では、カードゲームやボードゲーム等発達段階に応じた内容で誘い、友だちと一緒に活動する楽しさが感じられるように取組んでいます。	○カードゲームやボードゲームは新しいゲームを積極的に取り入れマンネリ化しないようにする。
2	【適切な支援をするための取組み】 障害理解や個の発達課題等理解を進め、適切な支援に繋げるために外部講師を迎えて研修会(事例検討会)を継続している。また、職員全体で話し合いを日々重ね子ども一人一人の支援が適切にできるようにしている。	○年間計画に基づいて研修会の開催。 ○研修会への参加が難しい職員には研修記録の閲覧や必要に応じ、資料等を配布している。	○障害理解等の研修会は継続していく。
3	【子どもの生活の安定を考える取組み】 保護者と連携を密にし子どもの生活を安定したものできるように通所回数や通所日の調整を行っている。また、個別懇談会を開催し家庭生活における悩み事など聞かせてもらうようにしている。	○支援内容や通所予定の子どもたちの状況考慮して支援内容を決めている。 ○支援計画見直し時に通所についての要望や生活での困りごとがないか聞かせてもらうようにしている。	○次年度も保護者対象に学習会や座談会などの企画を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民の方々との交流が持ていないので利用者の地域行事等の参加も持ちにくい。避難練習等に地域の方々との連携も弱くなっている。	事業所が位置している行政区の自治会の賛助会員になっているが自治会で行われている行事等の情報を入手していない。	夏祭りを企画した際に地域の方々にピラを作成し参加呼びかけを行ったが参加者がなかった。魅力ある企画内容にする。また、地域の方々に放課後等デイサービスについて理解をしていただくための取組みが必要である。
2			
3			